

氏名	妹 尾 嘉 昌
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 3 2 1 号
学位授与の日付	昭和44年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系外科学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学位論文題目	Biological (Homo-, Heterologous) Aortic Valve Replacement 自然弁(同種, 異種)による大動脈弁置換術に関する基礎的, 臨床的研究
論文審査委員	教授 砂田 輝 武 教授 田中 早 苗 教授 児玉 俊 夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

人工弁置換にともなう諸合併症を除くため同種弁による置換が行なわれているが、著者は異種弁をも利用すべく検討し、さらに自然弁による大動脈弁置換術の確実、容易な術式を確立した。

異種弁は新鮮なものは相当強い抗原性を示すが、凍結乾燥、ホルマリン溶液浸透などの処理を加えると、その抗原性は新鮮同種弁と同程度（事実上無視できる程度）となる。

処理異種弁の機械的強度は、新鮮弁と大差なく、ともに満足できる血行動態を示す。

移植弁大動脈壁と残存弁とを十分 adaptation させながら、連続縫合し、交連部下端を別に mattress 縫合すれば、peripheral leakage はなく従来の方法の約 1/2 の手術時間で、確実な縫合が出来る。

臨床応用例でも手術成功例は全く理想的な弁機能を長期にわたり示している。

即ち移植弁を含む自然弁置換は人工弁の欠点を除去する理想的な代用弁として利用され得るものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は自然弁（同種，異種）による大動脈弁置換術に関して基礎的ならびに臨床的に研究したものであるが，現在なお種々問題のある自然弁とくに異種弁の安全な応用について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。